

大学の世界展開力強化事業(2020年度選定) 山口大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2020年度・(タイプA①))

アジア・アフリカにおけるOne Health問題の解決に向けた感染症対策を担う獣医師育成プログラム

【交流推進事業の概要】

＜事業内容＞

日本とケニアの獣医師養成教育の交流プログラム

ワンヘルス (ヒト、動物、環境の健康)
感染症の問題解決は世界的な課題

遠隔システムの導入 (学部、大学院)

共通講義の実施、単位の相互認定 (両国)



派遣による交流

学部学生：短期派遣 (2週間程度)

国際交流によるグローバル感覚の取得 (両国)

実習 (応用・臨床) 単位の相互認定 (両国)

大学院生：長期派遣 (1か月-3か月程度)

フィールドを対象とした学術研究 (ケニア)

感染症分野の最先端研究 (日本)

企業等によるインターンシップ

山口県、国内の企業、衛生研究所等の公的機関、動物病院等への訪問・体験学習 (日本)

ケニア医学研究所、ケニア国際畜産研究所、動物病院等への訪問・体験学習 (ケニア)

公衆衛生の実践
 家畜衛生の実践
 食料資源の確保

感染症対策には各地域に特有の課題が存在

感染症対策に貢献する獣医師の役割は大きい

アジア・アフリカにおけるOne Health問題の解決に向けた感染症対策を担う獣医師育成プログラム

【交流プログラムの概要】

本事業は、本学共同獣医学部とケニアのナイロビ大学獣医学部の連携を軸に、アジア・アフリカにおける獣医学教育・研究の連携を進展させ、相互交流によりグローバルな視点から学ぶことで、ヒト、動物、環境の健康(One Health)に関する問題のうち、特に重要な「感染症」に焦点を絞り、当該分野に貢献する獣医師の養成プログラム構築を目指す。

【本事業で養成する人材像】

獣医師の活躍の場は広く、公衆衛生・家畜衛生獣医師、臨床獣医師、研究者、教員等、多岐にわたるが、いずれの職種においても、ヒト・動物の感染症対策を基盤としたOne Healthに関する知識、技量は基本となる。そこで、本事業による教育プログラムで身につけた知識、技術、人的ネットワークを基に、獣医師の専門性を活かし、グローバルな視点からOne Healthの実践に貢献できる人材を育成する。

特に、動物由来の新興感染症や家畜の感染症を対象とした研究者を志す獣医学生を積極的に育て、日本・アフリカの両国において、実験室における基礎・応用研究から野外でのフィールドワークまで幅広い視点で感染症対策に貢献できる人材育成を目指す。

【本事業の特徴】

- ・遠隔システムを利用した共通講義・グループディスカッション
- ・学部生・大学院生及び若手教員の人的交流、両大学の施設利用による実習
- ・協力機関や企業等におけるインターンシップや体験活動
- ・単位の相互認定や共通の成績管理の実施

【交流予定人数】

		2020	2021	2022	2023	2024
派遣	実際に渡航する学生	0	6	6	6	6
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	10	10	10	10
受入	実際に渡航する学生	0	6	6	6	6
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	10	10	10	10